

室蘭栄高で医療系の大学・専門学校への進学を目指す1、2年生を対象とした医療体験実習が室蘭市の製鉄記念室蘭病院と市立室蘭総合病院で行われた。

旭川医大が地域医療を担う人材を育てるために道内各地で行っている高大連携事業の一環で、製鉄記念室蘭病院では6日に22人が参加。生徒は団塊の世代が85歳以上を迎える2035年の西胆振の医療問題をテーマに討議した後、希望する職種ごとに分かれ、院内を見学した。

このうち理学療法士を目指す2年の古川七奈子さん(17)は病棟で、膝の手術後に使う脚を固定する装具を付け、患者の不自

地域医療担う人材に

室蘭 栄高生が病院で実習



由きを体験した。松葉づえを使った。市立室蘭総合病院でも5日に
って歩き、「膝が曲がらないと 同様の実習を行い、21人が参加
こんな大変とは。仕事に対す した。
る興味がいよいよ湧いた」と話して

製鉄記念室蘭病院で、脚を固定する装具を付け、松葉づえをついて患者の不自由さを体験する生徒ら

(生田憲)